

芳賀 大峰

サクソフォン



ソプラノ 佐藤 みか



郡山市立郡山第一中学校在学中に第13回日本クラシック音楽コンクール全国大会中学生の部一位二位なしの第三位、東京藝術大学音楽学部附属音楽高校(在学中に2004年第7回サクソフォン協会ジュニアサクソフォンコンクール第一位)を経て、洗足学園音楽大学を首席並びに最優秀賞を受賞し卒業。在学中、洗足学園音楽大学前田奨学金奨学生、並びに明治安田生命クオリティオブライフ文化財団より奨学金を授与される。同大学にてソリストとして、秋山和慶氏の指揮による洗足学園ニューフィルハーモニック管弦楽団とイベール(Jacques Ibert)のアルトサクソフォンと11の楽器のための室内小協奏曲を共演。また、韓国にて伊藤康英氏作曲のアルトサクソフォンと吹奏楽のための幻想的協奏曲を同氏指揮のもとHanyang University Wind Orchestraと共演。洗足学園音楽大学卒業演奏会、第83回読売新人演奏会(東京文化会館大ホール)等の演奏会に出演。卒業後、リサイタルや室内楽の演奏会を主宰し精力的に活動する。

その後、スイスのルツェルン音楽大学Hochschule Luzernにて研鑽を積み、修士課程ソロパフォーマンスディプロムを取得、マイナー(副専攻)として現代音楽を学ぶ。在学中、Konservatoriumsverein Dreilinden Luzernより奨学金を授与される。2016年エドヴィンフィッシャーコンクール(ルツェルン)第一位。特に現代音楽や即興演奏に積極的に取り組み、「Step Across The Border」というプロジェクトにおいてAlvin Curran, Marc Ducret, Mischa Käser, Ann-Liis Poll, Anton Potzといった即興演奏家とともに多数の演奏会に出演。更に、ターフェルムジーク(Tafel Musik)という椅子と机などを使った即興パフォーマンス集団として、ルツェルンの観光名所や大自然の中でパフォーマンスし拍手喝采を受ける。ソリストとしてルツェルン交響楽団とマルタン(Frank Martin)のバラード(Ballade)を共演し各紙から好評を博す。ドナウエッセンゲン音楽祭などのヨーロッパ各地で催される現代音楽フェスティバルに参加。スイスのボスヴィル(Boswil)にて、若手作曲家プロジェクトに演奏家として参加し、若手作曲家にサクソフォンの演奏効果や記譜法など教え、新曲発表に尽力する。Zurich International Saxfest2017にてソリストとして独奏曲を披露。またルツェルン音楽大学サクソフォンオーケストラのコンサートマスターを務めた。また、イエズス教会(Jesuitenkirche)などの教会で催される演奏会に招かれ、バッハなどのバロック音楽から現代音楽まで幅広く演奏する。

三春アンサンブル弦楽四重奏・三春弦楽合奏団

2003年の春、三春町に本格的なコンサートホール「まほら」がオープンするのを機に「我が町に自前のオーケストラを作ろう」「若手音楽家の演奏を支援しよう」「学校での音楽教育を応援しよう」という有志の思いから実行委員会を立ち上げる。三春町内外100名を超える方々にご賛同いただき、三春アンサンブル支援会を設立し「三春アンサンブル弦楽四重奏」を結成。年2回のコンサート及びスクールコンサートを実施。15年間、支援会の主軸となり活動。三春町の音楽文化の発展に寄与する。

2017年10月、オーケストラ結成に向けての第二弾として弦楽四重奏のメンバーに、新たにオーディションにより演奏技術は勿論のこと支援会の趣旨に賛同いただいた新メンバーを加え「三春弦楽合奏団」を結成。平成30年3月にデビューコンサートを実施し好評を博す。

三春アンサンブル支援会は会員の会費で演奏会を行うボランティア団体で、このような活動団体は県内唯一であり、多くの音楽関係者の方に注目されております。

1st. ヴァイオリン



田中 洋子
(四重奏メンバー)



増子 仁保



佐藤 佳子



高野 あみ



井上 聡
(四重奏メンバー)
演奏者代表



樋口 康子



折笠 友紀

ヴィオラ



二瓶 眞実子
(四重奏メンバー)



佐藤 睦浩



長尾 広光



井上 弘之
(四重奏メンバー)



小枝 泉



河原田 潤

チェロ

コントラバス